

役員道外視察研修

1月14日～17日、関西方面で役員道外視察研修が行われました。今回は、当組合出荷市場となっている大阪中央青果株式会社、京都青果合同株式会社を訪問し、青果物流通についての協議会が開催されました。

《大阪中央青果株式会社》

大阪市中央卸売市場を訪問し、大阪中央青果株式会社の担当者と意見交換会を行いました。

当組合からは、食用馬鈴薯、長いも、大根等が出荷されております。

最初に平成30年産の産地情勢報告として、食用馬鈴薯については、小玉傾向であり製品割合でM・Sの比率が高く、特に男爵薯においては、50%強となっていること、長いもについては、29年産と比較すると6月の降雨で陥没の影響が出ており、A品発生率が微減、B品・C品発生率が増加していること。大根については、収量は平年並みで推移したものの、作付面積の減少や一部病害虫の発生により集荷数量が減少していることを報告致しました。

消費地における情勢報告では、昨年9月のブラックアウト等で一時道産物の売り場が縮小されたが、11月には売り場も通常に戻ったとの事でした。しかしながら、九州産食用馬鈴薯が豊作傾向であり、L玉比率が高いため、道産馬鈴薯販売に苦戦し、価格低迷からなかなか抜け出せない状況であるとの報告でありました。

今後、当組合の食用馬鈴薯の選果が2月下旬頃に終了予定ではありますが、出荷のメイクイン・男爵薯の一層の有利販売を要望致しました。

《京都青果合同株式会社》

京都市中央卸売市場を訪問し、京都青果合同株式会社の担当者・執行役員との意見交換会を行いました。

当組合からは、食用馬鈴薯が出荷されております。

最初に平成30年産の産地情勢報告として、29年産食用馬鈴薯において、貴社に対し、男爵薯で約130t、メイクインで約330tを出荷していること、30年産については、減収・小玉傾向であり、集荷数量が29年産と比較して減少していることから、現在貴社に出荷している数量は男爵薯で約31t、メイクインで約121tとなっていることを報告致しました。

消費地における情勢報告では、道内産馬鈴薯については、総体的に小玉傾向であることから、小玉の販売促進を進め、売り場の確保に努めているが、九州産（鹿児島・長崎）が大玉傾向であり豊作であるため、道内産馬鈴薯の販売に苦戦していることが報告でありました。

また、北海道同様に九州でもメイクインの作付けが減少してきており、加工品種の作付けへ変わってきているとの報告もありました。

各市場とも青果物の消費、価格低迷に苦慮しておりましたが、消費者・市場の国産青果物に対する信頼・要望は強く、特に国産青果物は安全・安心であり、さらに北海道産については、おいしいという好印象があります。札幌産青果物の生産を進める上で、安全・安心を最優先とし、消費者・市場・実需者に信頼される産地となることが重要であり、そのためには、組合員の方々の、農薬の適正使用による生産履歴記帳運動、残留農薬検査の取組などの地道な努力が基本であることを強く感じました。



地区別懇談会

本組合の地区別懇談会が2月18日～19日の2日間、4会場で開かれ、60人の組合員が出席（出席率34.09%）されました。

平成31年度事業においては、第29回JA北海道大会で決議された『「力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現」のため、「農業所得増大と多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」』を当組合でも協同組合運動の理念に基づいた活動を継続していく基本方針の説明がありました。また、30年度の収支見込み、各部の平成31年度事業計画をそれぞれ担当部長から説明致しました。

また、平成26年の農協制度改革より浮上した「信連への信用事業譲渡」については、信用事業を譲渡せず、総合農協として継続することが確認されました。

最後に、高橋組合長から31年度事業遂行にあたって組合員の皆様のご理解とご協力、そして更なる結集をお願いし、2日間の日程を終了しました。



I C T 技術研究会 自動旋回走行会

I C T 技術研究会の自動旋回走行会が2月13日に途別地区の圃場にて開催され、午前の部・午後の部合わせて約90名の組合員及び関係者が参加しました。

今回は、近年GPSガイダンスによる枕地旋回技術が普及し始めていることから、ディーラー協賛のもとトラクター自動旋回走行が実施されました。

幕別町では、昨年9月に「ホクレンRTKシステム」における「RTK幕別基地局」の助成要領が制定され、同年11月にJA幕別町糠内事業所内に当基地局が設置されたことから、幕別町町長をはじめ、議会議員の方々も参加されました。

参加された皆さんは、新しい技術に興味津々な面持ちで自動旋回走行を体験していました。



青年部・職員交流会

1月26日に青年部と職員との交流会がスズランボウルで開催されました。毎年行われているこの交流会は、青年部と若手職員との交流の機会を多く持つ目的で行われており、今年は25名が参加しました。青年部と職員が混合となるグループで、2ゲームのボウリングを通して交流を深めました。

青年部長の挨拶と始球式で幕を開けたボウリング大会は序盤からカーブボールや剛速球が飛び出す好勝負が繰り広げられました。グループ内で投げ方のアドバイスをしたり、スコアの近い人と互いに競い合ったり、ストライクやスペアが出る度に盛り上がりを見せ、笑顔の絶えない賑やかな雰囲気の中で大会を終える事が出来ました。

その後場所を移した懇親会は、普段あまり話す機会の無い青年部員と職員の親睦を図る良い機会となり、有意義なひと時を過ごす事が出来ました。



青年部管外視察研修

2月10日～11日にかけて当農協青年部による管外視察研修が開催されました。今回は総勢13名の青年部員が苫小牧市の株式会社Jファームと札幌市のシンジェンタジャパン株式会社へ施設見学に行きました。

株式会社Jファームは、スマートアグリシステムを採用した植物工場で、ベビーリーフとトマトを栽培しています。スマートアグリシステムとは、P r i v a社が提供する高度栽培環境制御システムによりハウス内の環境（温度、湿度、日射量、CO₂、肥料など）を制御し、植物の生育に最適な栽培環境を創り出す最先端の栽培方法です。最新技術のスマートアグリシステムによる栽培方法を目の前にした部員たちは、驚きながらも熱心に工場内を見学していました。

シンジェンタジャパン株式会社では、農薬の特性や有効活用に関する講習会が開催され、薬剤の特性や防除効果、試験実施の背景等を学び、自分たちが普段使用している農薬がどのように製品化されていくのかを学ぶことができました。

2日に渡る管外視察研修は学ぶ事が多く、充実した研修だったと皆さん満足の様子でした。



料理サークル 1月例会

1月8日に料理サークルの「1月例会」が農協2階会議室にて開催され、9名の部員が参加しました。今回の例会は「持ち寄り昼食会」ということで個人個人が腕を振った料理を全員で試食しました。

ごはん物からおかず、デザートまで全て手作りで、料理を並べたテーブルは華やかに彩られました。皆さん腕を振った料理は、どれもボリューム満点で部員の皆さんは「食べきれない」と笑いながら話していました。

どの品も味・出来栄共に大満足のいく料理で、部員の皆さんは料理を楽しみながら談笑し、1月の例会を終えました。



銀鈴会 冬期研修会

12月13～14日の日程で幕別町パークホテル 悠湯館にて銀鈴会の冬期研修が行われ16名が出席しました。

研修内容は『認知症予防に向けた取り組み』講演会で介護老人保健施設あかしやから講師を招き、認知症について学びました。また、幕別町教育委員会からトレーニング指導員を招き、『頭と体を使った楽しい運動』講座で体操を行いました。



夜には懇親会が行われ、30年度の活動内容を振り返ると共に来年度事業についても話し合われました。その後の懇親会では会員同士の親睦をより深める事が出来ました。

女性部 つどいの会

2月4日に女性部恒例「つどいの会」が農協2階会議室にて開催され、11名の部員が参加しました。今回は午前の部で、幕別町百年記念ホールより講師を招き、「折り紙体験」を行い、午後の部では、幕別町保健師による「若々しい身体づくり」と題して講座が開催されました。

「折り紙体験」では、お花やキャラクター等、お手本を見ながら色々な折り方を楽しく学びました。「若々しい身体づくり講座」では、正しい食事の摂り方や普段からできる体操を学び、軽く汗を流しました。

講習会の後には十勝川温泉観月苑にて懇親会が行われ、30年度の女性部の活動を振り返りながら親睦を深め、充実した1日となりました。



女性部友の会 サークル活動

12月20日にスズランボウルにて女性部友の会のサークル活動が開催され、10名の部員が参加し、交流を深めました。

女性部友の会会長の挨拶で始まったボウリング大会は1ゲーム行われ、終始和気藹々の中プレーが進み、互いに競い合ったり、教え合ったりと皆さん楽しんでいました。

その後場所を移した懇親会では、今後の友の会の活動内容や農業情勢といった話が出る中、和やかに束の間のひと時を過ごす事が出来ました。



女性部友の会 冬期研修会

1月17日に幕別町百年記念ホールにて女性部友の会の冬期研修が開催され、13名の部員が参加しました。

今回は、アロマセラピストの方を講師に招き、「アロマセラピー講座」が開催され、アロマセラピーのお話や「アロマローション」や「バスソルト」、「リップクリーム」のハンドメイド講座を行いました。初めての作業ということもあり、悪戦苦闘していましたが、好きな香りで完成させることができ、皆さん大変満足されていました。

その後場所を移した交流会では、会員同士談笑しながら交流を深めることができ、充実した冬期研修となりました。



年金相談会

2月21日、農協2階会議室にて年金相談会が開催されました。

毎年2月に当農協で行われている相談会では、専門講師の方をお呼びして、これから年金をお受取りになる方の疑問や相談にお答えして頂いています。1組30分程度の時間で個別に話が聞ける良い機会という事もあり、毎年定員数の方が参加されています。

今年は10名の方が参加し、「年金の見込み額は？」「いつから年金はもらえるの？」「手続きの詳しい方法は？」といった自身の持つ年金に関する疑問を講師の方と共に解決していました。

